

kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.55

第47期(2011年10月期)第1四半期号

kanamoto
Construction

KO

東日本大震災の対応について

このたびの東日本大震災により被災されました方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。
また、現地でご活躍の皆様ならびに支援活動に尽力されている皆様に、心から敬服の意を表します。

カナモトグループでは、いち早く震災対策本部を立ち上げ、人命救助ならびに復興復旧に向け、皆様の一助となるよう一丸となって尽力申し上げる所存であります。

カナモトグループの震災対応の経過

地震発生当日に対策本部を設置しました。

2011年3月11日、地震発生後間もなく当社は営業統括本部(東京都港区芝大門)に「東北地方太平洋沖地震対策本部(4/1に『東日本大震災対策本部』と名称変更)」を設置しております。

東日本大震災対策本部

株式会社カナモト 営業統括本部
東京都港区芝大門 1-1-7 浜松町 Kビル内

全国の拠点から被災地へ、迅速に資産シフトを行っています。

被災地の営業拠点では、それぞれ自治体・公共機関との災害協定ならびに要請に基づき、人命救助向け機材の出荷をしております。カナモトでは東北地方に50拠点を展開しており、被害の大きかった太平洋側地域には、日本海側からいち早く建機や機材を供給するなど、体制を整えております。

3月14日、北海道から発電機、支援物資などを搬送したのを皮切りに、16日、17日、20日と自衛隊移動の間隙を縫ってダンプカー、トラック、散水車、仮設ハウス・トイレ等、不足する建機の供給を実施。また、19日には北海道と関西からそれぞれ応援隊が現地へ赴き、機械の出荷や被害を受けた営業拠点の復興に当たっております。



津波による被害を受けた大船渡営業所近郊で復興工事に使用される当社建機

震災対策として、レンタル資産の設備投資額を大幅に増額いたします。

カナモトでは毎年、150億円内外の設備投資を行っておりますが、建機が大幅に不足すると想定されることから、設備投資額を増額し、建機メーカー各社に追加発注をしております。

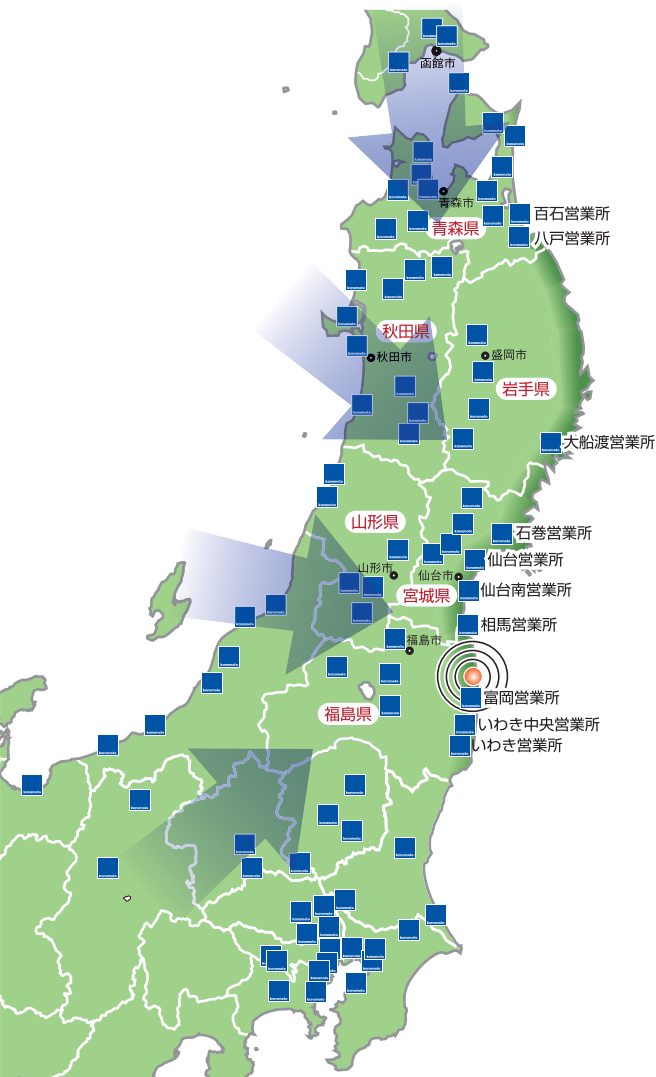
中国寄贈のポンプ車が当社野田集約センターで 操作トレーニングを行い、現場に赴きました。

各種メディアで報道された中国の三一重工社から寄贈された「62mブーム・コンクリートポンプ車」。ポンプ車は3月24日に日本に到着後、25日と26日に千葉県内の当社野田集約センターで操作トレーニングを実施し、現場に向かいました。

カナモトは立ち向かう方々の一助になれるよう、鋭意努力いたします。



当社野田集約センターで操作トレーニングを実施するコンクリートポンプ車



当社の被害と復旧の状況について

カナモトでは東北地方に50拠点を展開しております。そのうち、太平洋側には10拠点。その中で大船渡営業所(岩手県大船渡市)と仙台営業所(仙台市宮城野区)の2拠点については、津波による被害を受け、一時閉鎖しておりましたが、現在はずでに機能を回復し、同業に先駆けて業務を再開しております。また、千葉県の幕張、船橋、浦安、東京都の新木場などでは液状化による地盤沈下や地下埋設管が浮き出すなどの被害が発生しております。これらについては、当社は神戸、釧路での経験を最大に生かして対応してまいります。



久しぶりに灯った仙台営業所の看板

当社営業統括本部長の金本哲男から、カナモトを育ててくれた東北地方の復興復旧に全力を挙げて取り組み、社会貢献に尽力する旨、当社グループ全社員に向け、指示通達が出されております。小誌では、今後も状況の進展をお知らせしてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。ica

役員の紹介

第46回定時株主総会で取締役ならびに監査役が、取締役会および監査役会で代表取締役社長、常勤監査役、執行役員がそれぞれ選任されました。

取締役



金本 寛中*

代表取締役社長

- ① 特にありません。
- ② ポピュラーミュージックが好き。
- ③ 利益率向上と、早く連結売上を1千億円の大台に。



卯辰 伸人*

経理部長

- ① 巧偽拙誠(こうぎせつせい)
- ② ゴルフ、庭いじり、信長の野望(ゲーム)
- ③ IFRSへの早期対応



金本 哲男*

営業統括本部長、レンタル事業部長

- ① 一隅を照らす
- ② 読書、料理&食べること
- ③ 今期業績計画の達成



成田 仁志*

業務部長

- ① 一灯照隅
- ② 読書(警察小説)、日曜大工、ゴルフ
- ③ グループとしての購買力増強



平田 政一*

レンタル事業部副事業部長・特販部長

- ① たった一言が人を傷つけ、暖める
- ② 庭いじり(主に高山植物)
- ③ 資産管理でブランド化の維持向上



北方 敬一*

情報機器事業部長、事業開発部長

- ① 前へ(Gain Ground)
- ② エアロピクス、時代劇
- ③ 与えられた部門を黒字化すること



磯野 浩之*

総務部長、社長室長

- ① 至誠通天
- ② 登山、ランニング、読書、音楽、お酒
- ③ 明るく、元気に、前向きに



金本 龍男*

レンタル事業部、北海道地区統括部長

- ① STAY GOLD
- ② 楽器演奏(エレキギター)、ライブ活動、音楽鑑賞
- ③ チャレンジング・イノベーションと収益拡大・追求!



長崎 学*

レンタル事業部東北地区・関東地区統括部長

- ① 創見は難しく、模倣は易し。
- ② 歴史散策、クラシック音楽、創作料理
- ③ 個ではなく集で戦い中長期的な定量拡大!



麻野 裕一*

債権管理部長

- ① 『我以外皆我師也』職業に貴賤はない。
- ② 読書、ジョギング・マラソン
- ③ 営業と信用リスク管理の最適化に注力したい。



棕梨 直樹*

海外事業部長

- ① 現状維持即是脱落
- ② 釣り・ゴルフ
- ③ 海外事業会社のRISK把握と収益性確保



門脇 克俊

- ① 於不可已而已者、無所不已(孟子)

- ② クラシックコンサート鑑賞・読書
- ③ 海外展開・M&Aに関し、適切な判断を行いたい。



上谷内 祐二

- ① 鷺鳥は群れず
- ② 旅行、写真、ゴルフ
- ③ 行動する社外取締役

(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。

(注2) 門脇克俊氏及び上谷内祐二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注3) 監査役の橋本昭夫氏及び辻清宏氏及び直井皖氏、大場久夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(注4) 役職名は当社におけるもののみを記載しており、一部兼務役職を省略しております。

掲載しております①座右の銘、②趣味、③経営目標は、東日本大震災の発生前に原稿を依頼していたもので、趣味についてはこの時期に不謹慎かとも考えましたが、多くの株主の皆様から「役員の人となりを知りたい」というご意見、ご要望を数多くいただいております、今回掲載することといたしました。

監査役



澤田 紳六
常勤監査役

- ①生涯正直者でいたい。
- ②魚釣りだが最近年には勝てない。
- ③社会的に信頼される企業づくりに貢献したい。



金本 栄中
常勤監査役

- ①虎穴に入らずんば虎子を得ず
- ②ゴルフ、映画鑑賞、司馬遼太郎の本
- ③バランス感覚を持った監査



横田 直之
常勤監査役

- ①一隅を照らす
- ②家では山の如く、外では球を追って風の如し
- ③各事業所を精力的に回り、監査・指導に努めます。



橋本 昭夫
監査役

- ①人事を尽くして天命を待つ
- ②農作業、オートキャンプ
- ③コンプライアンス（法令遵守）の実践



辻 清宏
監査役

- ①一期一会
- ②旅行、スポーツテレビ観戦
- ③事実の把握と公正な判断



直井 皖
監査役

- ①熱と誠
- ②読書（歴史）
- ③財務の健全性観点からの監査



大場 久夫
監査役

- ①為せば成る、為さねば成らぬ何事も
- ②体を動かす事
- ③中立性をもった客観的な監査を遂行する

執行役員



熊谷 浩
情報システム部長

- ①鶏口牛後
- ②温泉巡り
- ③新技術の研究



問谷 悟
レンタル事業部部長

- ①明快（clear）創造（create）一貫性（consistency）
- ②読書、映画鑑賞
- ③ガバナンスの向上と継続的利益体質の確立

役員が掲げる経営目標を上回れるよう、そして震災対応も迅速に行えるよう役職員一同、業務にあたります。ica

第47期第1四半期決算の概況

[平成22(2010)年11月1日から平成23(2011)年1月31日まで]

●連結経営成績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
47期第1四半期	18,280 (△2.2)	1,114 (△33.2)	979 (△38.6)	354 (△58.4)	10.80
46期第1四半期	18,699 (7.2)	1,666 (149.0)	1,595 (162.6)	853 (—)	25.98

●連結業績予想

47期第2四半期	35,080 (△5.6)	1,940 (△39.3)	1,580 (△46.0)	750 (△50.5)	22.84
47期通期	67,160 (△4.3)	1,440 (△45.6)	700 (△66.4)	210 (△79.8)	6.40

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当社グループの第1四半期における日本経済は、政策効果が剥落するも、米国景気の緩やかな回復など海外景気に牽引され、輸出産業などをはじめ大手企業の好業績予想が先行するなど企業景況感は改善され持ち直しの様相を呈しました。自動車や家電購入支援策等の政策効果が縮小し内需が低迷する中、民間設備投資面では首都圏のマンション建設を皮切りに徐々に明るさが見えるなど、総じて穏やかな景気回復基調の

四半期となりました。

ただ一方で、地方においては内需低迷、デフレ傾向が尾を引き中堅・中小企業の収益を圧迫、雇用状況の悪化、倒産件数の増加傾向など環境の厳しさは続いており、地域格差が一段と顕著になりました。当社グループが属するサービス産業につきましては、低価格化は一段落しているものの絶対的な需要低迷を背景に企業間競争は激化しました。

[第1四半期の連結業績]

2010年の建設工事年間受注高は、緊急経済対策があったものの過去最低の41兆5,984億円(前年比0.3%減。国交省調査によると)、建設業界は引き続き厳しい事業環境が続いております。同業界に付随する建機レンタル業界も同様に、建設工事激減に伴う企業間競争が激化しております。このようななか、当社では、国交省が推進するNETIS登録技術並びに情報化施工用の最新鋭機を積極的に採用するなど、提案型営業を推し進めた結果、それぞれの地域でシェアを確保し出荷率は向上しました。しかしながら、競争激化に伴うレンタル単価の低迷が引き続いていることもあり、総体的に当社

グループの収益は圧迫される傾向にありました。

海外向け中古建機販売は、旺盛な海外需要と市場価額の高止まりにより、大きく伸長しました。

これらの結果、平成23(2011)年10月期第1四半期の連結業績につきましては、連結売上高が182億80百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

一方、利益面につきましては、営業利益は11億14百万円(同33.2%減)、経常利益は9億79百万円(同38.6%減)でした。また、当第1四半期純利益は3億54百万円(同58.4%減)でありました。

■事業種類別売上高および売上比率



91.1% **建設関連事業** 16,645百万円 (対前年同期比 5.3%減)

8.9% **その他の事業** 1,634百万円 (対前年同期比46.4%増)
(鉄鋼関連事業・情報通信関連事業など)

[事業種類別セグメントの業績]

建設関連事業

建機レンタルの地域別売上高は、経済対策効果が剥落した北海道地区では、従前同様、土木工事のほか建築工事についても強力な営業展開を実施しましたが官民ともに需要減少が著しく、当第1四半期の売上高対前年同期比は26.3%の大幅減と、前々年並みの結果となりました。一方、東北地区は六ヶ所村核燃料再処理施設建設などの大型プロジェクト効果もあって対前年同期比4.9%増と回復いたしました。関東地区では首都高速道路や護岸工事などの公共事業のほか回復傾向にある首都圏でのマンション建設などの民間建設投資も後押しして同3.9%増、近畿中部地区は大都市圏の民間設備投資が回復し同3.3%増、九州沖縄地区は北部九州を中心とした官需により同3.1%増となりました。

海外向け中古建機販売は、同180.8%増と大きく伸長しました。また、海外子会社のうち上海金和源グループ2社につきましては、沿岸部のほか武漢などの内陸部にも順次営業エリアを広

げましたが、前年同期の上海万博関連工事がなくなった影響と万博終了後の工事開始が遅れたことなどから、19.0%減でありました。

以上の結果、建設関連事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は166億45百万円(対前年同期比5.3%減)、営業利益は10億23百万円(同39.7%減)でした。

その他

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、鋼材市況の高まりと基礎用部材の需要増から、当第1四半期の売上高対前年同期比は49.8%増でありました。一方、情報通信関連事業もパソコンレンタルの新規開拓が奏功し同25.0%増と、ともに好調な滑り出しとなりました。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は16億34百万円(同46.4%増)、営業利益は46百万円(前年同期は21百万円の営業損失)となりました。

[特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況]

(1) 当第1四半期連結会計期間における拠点の新設閉鎖は、新設は六ヶ所営業所(青森県上北郡六ヶ所村)の1ヵ所、閉鎖はそれぞれ北海道の白糠機械センター(白糠郡白糠町)、富川機械センター(沙流郡日高町)、室蘭機械センター(室蘭市築地町)の3ヵ所でした。

(2) 2011年2月25日に既報のとおり、シンガポール共和国の建機レンタル大手JP Nelson Equipment (S) PTE. LTD. と合併で、同国内にKanamoto & JP Nelson Equipment (S) PTE. LTD.を、2011年1月11日に法人登記しております。本格的な営業活動を開始するのは3月以降となる見込みで、当期中の収益は些少と思われます。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)	第46期第1四半期 (2009.11.1~2010.1.31)	第47期第1四半期 (2010.11.1~2011.1.31)
① 売上高	18,699	18,280
売上原価	12,563	12,723
売上総利益	6,136	5,556
販売費及び一般管理費	4,470	4,442
② 営業利益	1,666	1,114
営業外収益	140	81
営業外費用	211	215
③ 経常利益	1,595	979
特別利益	50	7
特別損失	12	161
税金等調整前四半期純利益	1,633	825
法人税、住民税及び事業税	650	320
法人税等調整額	79	149
少数株主損益調整前四半期純利益	—	355
少数株主利益	50	0
④ 四半期純利益	853	354

連結キャッシュ・フロー計算書

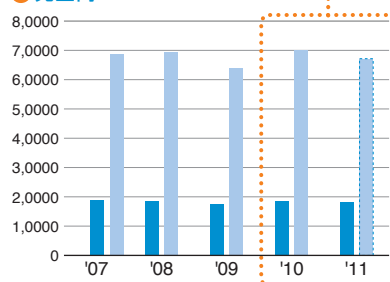
(単位:百万円)	第46期第1四半期(累計) (2009.11.1~2010.1.31)	第47期第1四半期 (2010.11.1~2011.1.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,956	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94	△185
財務活動によるキャッシュ・フロー	25	△1,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△7
現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	1,887	△1,825
現金及び現金同等物の期首残高	14,086	20,751
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	185	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,158	18,925

第1四半期のPoint

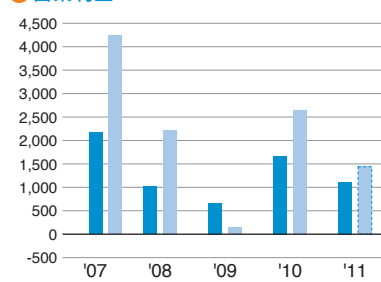
海外向け中古建機販売は、旺盛な海外需要と市場価額の高止まりにより、大きく伸長しましたが、厳しい事業環境が続くなか、建設工事減に伴う価格競争の激化により連結売上高は対前年同期比2.2%減となりました。

■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

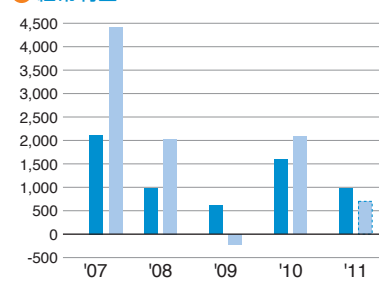
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



連結貸借対照表

(単位:百万円)	第46期第1四半期 (2010.1.31)	第47期第1四半期 (2011.1.31)
(資産の部)		
流動資産	34,467	36,751
固定資産	70,367	71,944
有形固定資産	64,233	65,956
無形固定資産	810	586
投資その他の資産	5,322	5,401
⑤ 資産合計	104,834	108,695
(負債の部)		
流動負債	37,082	46,213
固定負債	30,330	25,143
負債合計	67,413	71,357
(純資産の部)		
株主資本	36,561	36,446
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	15,927	15,814
自己株式	△23	△25
評価・換算差額等	260	328
その他有価証券評価差額金	275	373
為替換算調整勘定	△14	△44
⑥ 少数株主持分	598	563
純資産合計	37,420	37,338
負債純資産合計	104,834	108,695

第1四半期のPoint

積極的に提案型営業を推し進めた結果、それぞれの地域でシェアを確保したもののレンタル単価の低迷により当社グループの収益は圧迫され四半期純利益は対前年同期比58.4%減となりました。

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様にノベルティグッズをプレゼントいたします。今号はカナモトオリジナルのグリーンマーカーです。

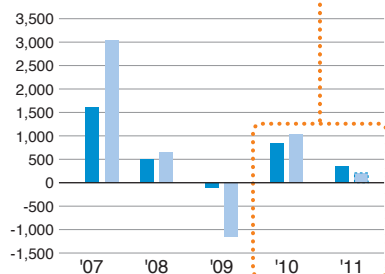
日本を代表するプロゴルファーとなった石川遼選手。今年の獲得賞金はすべて震災の義援金にされるとのこと。まだ10代なのに、頭が下がります。

ゴルフを嗜まれる諸兄におかれましては、少しでも多くプレーを楽しまれ、日本の経済を支えましょう。不肖編集子もガンバリます。

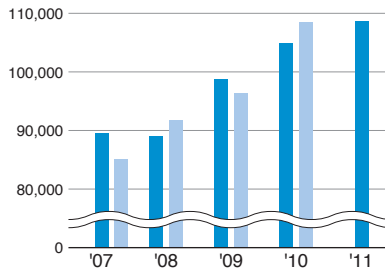


ご応募の締め切りは2011年5月27日(当日消印有効)です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

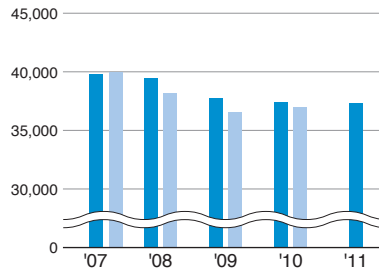
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



2Q

2011.2



第2回タームアウト型リボルビング・クレジット・ファシリティ契約の締結について発表



シンガポールに現地同業社と合併で設立した新会社について発表



IRフォーラム2011大阪に出展

2011.3



第47期(2011年10月期)第1四半期決算発表



ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ!」に出展



東証IRフェスタ2011に出展

「東証IRフェスタ2011」は3月11日午前10時から開始され、当社ブースにも多くの投資家の皆様にお越しいただきましたが、同日午後には発生した東北地方太平洋沖地震の影響から間もなく中止となりました。開催中止という大変残念な結果になりましたが、今後もカナモトは各地で個人投資家説明会を開催するなど、皆様との“対話”を重視したIR活動を展開してまいります。

2011.4



入社式／新人研修

4月1日に2011年度の入社式が執り行われました。新入社員24名に向けて、社長の金本寛中から歓迎と激励の訓示があり、これに対し新入社員を代表して仲野莊太郎社員が「世界各地に活動のフィールドを広げるカナモトの一員として、各々が自らの能力に限界を感じることなく仕事に取り組み、日本中、いや世界中の建設現場でカナモトの建機を活躍させることを誓います」と答辞を述べました。

頼もしい新入社員たちは、同日から16日間にわたって新人研修を受講した後、それぞれ配属された事業所での業務に就いています。



【札幌】上場企業合同説明会に参加(札幌証券取引所)



東日本大震災への対応について

本誌2～3ページに掲載いたしました。

サンクスフェア2011開催延期のお知らせ

毎年恒例の「カナモトサンクスフェア」は、このたびの東日本大震災の影響を考慮し、すべて5月以降に延期することといたしました。開催を予定している営業拠点は右記のとおりです。詳しくは随時、当社HP(www.kanamoto.co.jp)でご案内してまいります。

開催スケジュール

北見	5/14・15	釧路	7/9・10
苫小牧	5/21	函館	7/16
静内	6/11	旭川	9/10・11

海外での事業拡大を推進しています

■中国

現在、国内の建設市場は緩やかな縮小傾向にあります。そのため当社は海外での事業拡大を進めており、これまで06年に上海、09年には香港に現地法人を設立し、中国でレンタル事業を展開してきました。そして、インフラ整備がいまなお急ピッチで進む現地の旺盛な建機需要を取り込むため、カナモトは中国全土へ営業活動を広げます。年内に主要地域に10支店を新設、建機の整備や貸出窓口も拡充し、中国での事業展開を加速させる狙いです。

■シンガポール

既報のとおり本年2月、当社はシンガポールに現地の同業JPネルソン社と合併で「Kanamoto & JP Nelson Equipment (S) PTE Ltd.」を設立しました。シンガポールでは地下鉄や高速道路など大型プロジェクトが相次いで発注されており、当社グループの得意分野でもある地盤改良やシールド工法など土木特殊機械の需要が見込まれています。

■グアム

先般、米国準州グアムの米軍基地に関して、30億ドル(1ドル=85円換算で2,550億円)投入が決定した旨、現地の新聞パシフィック・デیلیー・ニュース紙が報じました。道路の拡張・延伸、官舎増設や公共施設の新設など、今後、建材需要の増大が予想されます。当地で展開する子会社「SJ Rental, Inc.」の収益拡大に大きく寄与するものと期待されます。

国内

Domestic

海外

Overseas

株価チャート（週足）



株価および売買高（東証分のみ。単位:円、出来高は千株）

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2010年 4月	450	514	448	462	1,553
5月	450	450	371	411	1,235
6月	415	436	392	416	987
7月	416	445	403	428	795
8月	438	445	420	434	610
9月	434	463	429	457	785
10月	459	460	394	417	3,428
11月	418	445	399	443	2,021
12月	440	449	417	437	1,679
2011年 1月	441	444	410	417	926
2月	418	462	416	461	1,059
3月	465	658	459	633	5,390

株主メモ（2011年2月1日現在）

資 本 金	96億9,671万円（払込済資本金）
発 行 株 数	32,872千株（発行済株式の総数）
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中

同総会議決権行使株主確定日 毎年 10月31日

期末配当金受領株主確定日 毎年 10月31日

中間配当金受領株主確定日 毎年 4月30日

公 告 の 掲 載 当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ(<http://www.kanamoto.co.jp>または<http://www.kanamoto.ne.jp>)に掲載いたします。

なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株 主 名 簿 管 理 人 及 び
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同 郵 便 物 送 付 先
及 び 電 話 照 会 先

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711（フリーダイヤル）

株式に関する各種手続きについて

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 編集後記 ●

3・11。不肖編集子は東証IRフェスタで、東京国際フォーラムにおりました。安全とされる地下2階ですらとてつもない激しい揺れでした。翌日の説明会をお申し込みいただいていた投資家の皆様、お会いできず残念でありました。あれからもう2ヵ月近く経つですね。早いものです。

それにしても、復興復旧が遅々としている状況に、一体全体、何をしているのかとイライラが募ります。「お示しできるよう…」のフレーズも、慇懃無礼にしか聞こえません。一方で、国内外のボランティアの行動力をみるにつけ涙が零れます。何と有難いことか。日本の政府にももっと素早い対応を願いたいものです。

さて、投資家の皆様、ご安心ください。カナモトは、元気です。育てていただいた東北に、恩返しさせていただこうと、ボランティアの方に負けないくらい血気盛んであります。皆様からいただいている応援を糧に、役職員一同、一所懸命、頑張ります。震災のため、掲載内容を変更しましたことお許しください。 

日本の復興復旧に、
尽力いたします。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

www.kanamoto.co.jp